

あなたも読みください  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3400円  
日曜版1カ月 800円

# 手良民報

生活相談はお気軽に  
電話 78-0943

赤旗読者に配達

発行  
日本共産党・手良支部

## 世紀の大事業

### 「手良誌」の発刊を祝う会

「手良誌」の発刊を祝う会が1月26日に手良公民館で行われ関係者約60名が出席しました。

編集対象者は17年度手良誌編集委員会、18年度各区分長、24年度各区分長、24年度各区分長、24年度各区分長、手良誌刊行のための資料・写真提供者、18年度以降手良誌刊行事務局、手良誌刊行・編集委員などのみなさんです。

はじめに全員で「手良の歌」を斉唱し祝う会に入りました。あいさつでは那須野文人刊行委員会委員長が「資料ひろみ通信」

ひろみ通信 166

### ガス化溶融方式は高額な処理費用

2月22日に上伊那広域連合議会が開かれる。来年度予算を審議する定例議会で。そのため、一般質問の準備をしています。

その中で、広域連合がこれから造ろうとしているガス化溶融方式のごみ処理施設は、処理費用が高額になっている実態が明らかになった。

例えば、新潟市鏡沼クリー

時、蟹沢にある珍しい「穴観音」と同じものがあつたことなど語り、編集委員会は見直しなど49回以上もあつたのに不平も言わずにみんなで頑張ったことなど話され、郷愁をさそう「手良誌」を地域の宝として大切にしていきたいと述べられました。

宮原達明編集副委員長よりは平成16年に手良活性化促進会議で研究委員会を立ち上げて検討すると決定してより刊行委員会を9回、編集委員会を43回開催して刊行に至るまでの経過報告がありました。

来賓祝辞では久保村清一伊那市教育長は「重みもあり、自然と読んでみたくなる。これを機会に地域への

これに対して、ストーカー方式（現在伊那や辰野でおこなっている）では、ごみ1トンにつき2万5千円くらいで処理されています。あまりに高額ではないでしょうか。

湖西市湖西環境センターでは、平成23年度ごみ1トンにつき5万円かかっています。処理費用がかかり過ぎるために、平成22年10月にこの処理場を使うのをやめて、浜松市にごみ焼却を委託し切り替えました。たった12年でやめています。これは、ガス化溶融（流動床式）です。

### ごみ溶融処理施設で死亡事故

また、最近、北九州市では、ガス化溶融方式のごみ処理場で死亡事故が発生しました。1月24日のことで、処理施設の炉内で作業中に灰の中に落ちてと報道されています。これについ



「手良誌」を祝う会

### 今年はい年 蛇をペットに飼っています

今年の干支（えと）は巳年で、動物にあてはめると蛇になります。

野口二重平の鈴木慎也さん宅では蛇をペットに可愛がっています。

8年ほど前に伊那のペットショップから購入したアフリカなどに生息しペットとして飼育されるボールパイソンというニシキヘビの一種です。

鈴木さん宅では家族中が可愛がっていますが、お伺いしますと、4歳の娘さんがしつかり抱いて見せてくれました。普段はとぐるをまいていますが、長さは1.5メートルあるようです。人工繁殖ということもあるのが攻撃性も匂いもありません。



ペットの蛇

しかし初めて見る人が驚くといけないので普段は鍵のかかった水槽に入れてあります。餌はハツカネズミのようなラットが年間3匹もあれば大丈夫です。

蛇は脱皮することから「復活と再生」を連想させ、餌を食べなくても長く生きることから「神の使い」として崇められ、全国各地に蛇神を祀っている神社があります。

### てらのさと

今年には雪が多い。前の雪がまだ融けないうちにまた積もる。雪があると朝の凍みも厳しい。路面の凍結は歩くのも油断出来ない。この季節「トンチキ教室」の歓声の中での子どもの達達と音や、「道祖神祭り」の知らせをふれ歩く子ども達の太鼓の音が春を呼んでいるが聞こえる。川のせせらぎも春の音になり、車のフロントガラスに射す陽も強くなってきた。今年の干支（えと）は蛇である。蛇は脱皮することから「復活と再生」を思い浮かべ、餌を食べなくても長く生きるといわれている。昨年の総選挙の結果は、自民党が4割の得票で8割の議席、「虚構の多数」を獲得し安倍政権が実現した。総選挙で国民がくだした審判は、「民主党政権ノー」であり、自民党の掲げた政策が信任されたわけではないと自民党自身が言っている。経済の問題でも平和の問題でも不安が付き纏う「財界中心」でなく、「アメリカ力いなり」でなく真に国民の利益に立った政治に「復活再生」させたいものである。夏には参議院選挙がある。そして蛇に学んで元気で息長く粘り強く長生きしたいものである。

(T)

### 手良のガソリンスタンドは J A の組合員懇談会

J A 上伊那の組合員懇談会では手良では1月23日中坪公民館・下手良公民館・24日に野口公民館・八ツ手公民館で行われました。

23日の中坪公民館では J A 役員4名が見え組合員14名が出席しました。

最初に伊藤博明監事より、昨年の6月に、東日本大震災にあった海岸線に近い宮城県の巨理農協を視察したことに触れ災害時にも復興

でも地域に根ざした農協が中心になって取り組んできたことがあいさつも兼ねて話されました。

ついで24年度事業の進捗状況、25年度事業計画、次期中期計画(25年度、27年度)について一通り説明がありました。



手良のガソリンスタンド

その中で手良給油所について話があり、消防法により手良の地下タンクは期限が過ぎて相当の費用をかけて電気防食や内面ライニングなどしなければ使用できなくなる、供給量も年々減ってきており現在の経営委託

も困難になってきている、しかし、生活店舗や資材店舗もなくなり今度はガソリンスタンドがなくなると地域の活性化にも支障があるという地域の特殊性から考えても残していきたいという方向で検討したい。そうすれと移動タンクが必要となるが一基400〜500

### 生活雑記 107 体罰・暴力

小松利江

体罰と暴力、どこで区別するの。

他人に手を上げる事は暴力、我が子に手を上げる事は体罰なの。

良く頭をたたいたり、お尻をたたいたりして云々ことを聞かない子どもに手を上げたり追い廻したり、感情むきだして子育てをして

きた過去の時代を思い出す。そんな様子を見ていて、

「母ちゃんや、尻をたたいても良いが頭だけはよせよ、つい力が入り過ぎると取り返しがつかない事になるからなあ」と何度も祖母から注意された。

大声を出している「発声練習かい、外まで良く聞こえるよ」と叱られた。

「子どもはなあ、一つ叱つたら、二つは替るんだよ、替めて育てた子どもは気持ちの良い子に育つからなあ」と。その時は「おば

### 多くの人が参加して 柳川後援会の新年会・総会

柳川ひろみ後援会の新年会・総会は2月3日の日曜日の午後、多くの地元の名が参加して中央区公民館で賑やかに行われました。手良からも大勢が参加しました。

最初に後援会長より柳川ひろみ市議は市の発展と住民生活向上のために、13年間一貫して尽力し、ベテラン議員として押しも押されぬ存在であるが、これ

もみなさんのご支援のおかげであり、今後もよろしくとあいさつがありました。来賓のあいさつでは柳川ひろみ議員に

万円かかる。7月以降は給油の日や時間の短縮などを含めて検討したいとのことでした。

その他では手良管農組合

あさん、あまやかさないでよ」と思った。

今、体罰だ、暴力だとい

本中が大騒ぎになっている。良く考えてみると、そんな社会を作りだしてしまつた体罰の根本的な問題は、監督を交替させただけでは終わらないと思つた。

特に、スポーツの世界はすさまじいとさえ思つた。競技の開始前から表彰台の場所を予想したり、メダルの色から個数まで、色めきだつて視聴者をおもむく、こんな現実を見ていると、とても



ついで小林伸陽県会議員よりは「議会活動の原点である弱い人の立場に立つて頑張つてきて、果たした役割は大きい」、日本共産党上伊那地区委員会澤好夫さんよりは「一つ一つの思いを大事にしながら地元の区長さんと手をたずさえて頑張つてきた」、中央区区長さんよりは「生れ育つた我々よりも地域のことをよく知っており頼りになる存在」とそれぞれに話されました。

柳川ひろみ議員の議会報告では日頃のご支援を感謝し、介護保険の小規模多機能施設の減免制度、伊那北小学校の耐震化と屋根などの補修、新しい伊那消防署のボーリング調査などを議会できりあげ実現したことなどとともに、中学3年生

の法人化、年金の掛金は農産物の販売高より多いといわれるが、高齢社会を迎え手良でも「買物弱者対策」を、などの質問や要望があ



柳川ひろみ新年会

まで35人規模学級の実現などを議会などでとりあげ実現しそうなこと、伊那公民館の建替えなど現在取り組んでいることなどについて報告されました。第2部の懇親会には歌あり、踊りあり、南京玉すだれあり、横笛ありで明るく楽しく和やかに行われ懇親を深めました。

### 今年も「トンカチ教室」行われる

今年で16回目を迎える手良小学校主催の「トンカチ教室」は1月26日土曜日の午後、手良小学校体育館で賑やかに行われました。

風邪が流行っていて例年よりは少なかつたですが、それでも100名以上の子ども、父母などの参加がありました。

後援の手良建設労働組合のみなさん8名の指導によりこの日は親子で一緒に踏み台約50台が作られました。

### 子どもが太鼓でふれあう 郷之坪の道祖神祭

今年も中坪郷之坪の道祖神祭は2月7日の星のない夜に行われました。小学生

が、六時半頃から太鼓をたいて常会内を歩き道祖神祭のあることを知らせます。7時頃になると常会内の

子どもからお年寄までの老若男女が集まってきました。集会所の道を挟んだ反対側に道祖神の無名の碑があるのでそこへ箱灯籠が置かれ参拝します。

集会所の前庭では焚き火を囲んで祭の当番である頭屋が用意した豚汁を食べながらコップ酒を飲み今年の安全を願います。帰りに子ども達には菓子袋のお土産が配られます。

俳句 福寿草 小松栄子

空家あり花の次々咲きほころ  
花冷えにウグイス啼いて姿なく  
草紅葉の中にドングリ落ちてゆく  
更衣新茶飲まんと友を呼び  
枯草を開けて顔出す福寿草



酒井要子

「絵手紙教室」をやっています  
連絡先 高橋 (七八)〇九四三

道祖神祭は今手良では境、郷之坪、米垣外しか行われていません。古来この3常会は手良境に位置し関所などあり村を守ってきたともあって残っているのではないかと思われず。

道祖神は、路傍の神として集落の境や村の中心村内と村外の境界や道の辻三叉路などに主に石碑や石像の形態で祀られています。村の守り神、子孫繁栄、近世では旅や交通安全の神として信仰されています。



道祖神祭りをしらせる

(おながい)

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋